[問い合わせ] SOUND CONNECTION TEL:046-263-5945 http://www.soundconnection.co.jp
Photo & Text ／ Takenao HAYASHI（林 剛直）

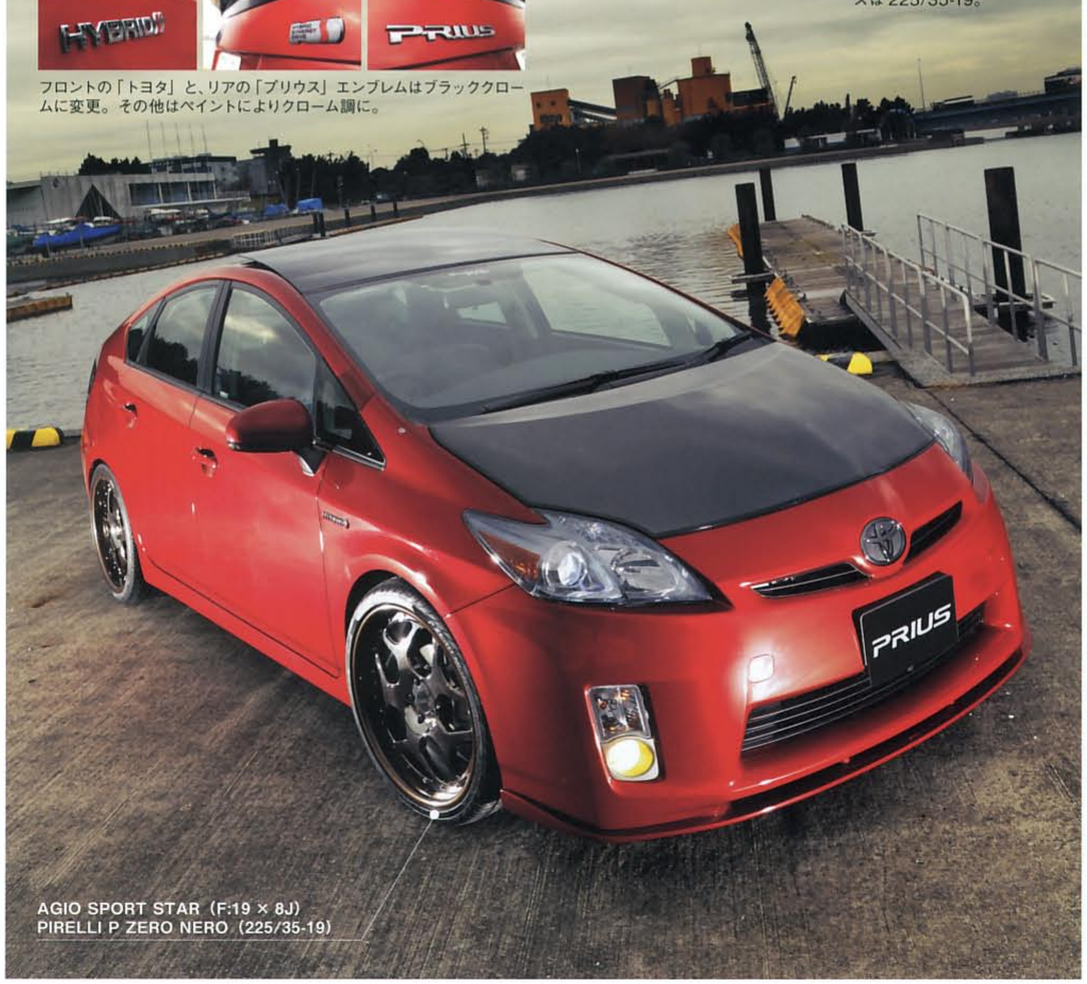
ミニバン系アップグレードを尻目に挑むUSコンシャスなスタイル……これ、かなりイイかも！

USストリートを意識したスタイルが王道になる!?

日本国内で爆発的なセールスを記録し続けている30プリウスは、アメリカのマーケットでも同様にヒットしている注目の1台だ。そこで徹底したUSスタイルを追求する最重要ファクトリーが、大胆にもプリウスの“USストリート・スタイル”を完成させた。これまでのラインナップとは大きく異なるアプローチに注目せよ!!

ホイールはAGIO SPORTのコンペティツィオーネ・ライン。モデル名「STAR」の19インチ×8J。リムはブロンズアルマイト、センターディスクはブラッククロームでフィニッシュ。タイヤサイズは225/35-19。

フロントの「トヨタ」と、リアの「プリウス」エンブレムはブラッククロームに変更。その他はペイントによりクローム調に。



AGIO SPORT STAR（F:19 × 8J）
PIRELLI P ZERO NERO（225/35-19）

アメリカのストリートシーンをリアルに再現するだけでなく、独自のアイデンティティとアイデアを盛り込み、日本のストリートに新たな刺激をもたらすサウンドコネクション。そのカスタム・センスは、一種のブランド力さえ持っている。

第一に、純正のレッドマイカメタリックを選択する時点で、他とは違う「何か」を感じる。代表の中村氏曰く「本当はサンディビーチメタリックがブいんだけど」と言うあたり、USストリートを知り尽くしている証だ。これはアメリカ・トヨタの純正シャンパンゴールドなのだ。

ご覧の30系にもUS純正のパーツはふんだんだ。ヘッドライト、テールレンズは当然として、アンテナまで交換する徹底ぶり。日本仕様は後方にたためるが、USモノは直立のままなのだ。インテリアは、スカッフプレート、サンバイザーに加え、カーゴルームに敷かれたオールラウンダーマット、その下を区分けするカーゴオーガナイザーがUSディーラーのオプションパーツである。ちなみにサンバイザーを変更してどうなるのかと思いきや、「ほら、ステッカーが英語でしょ。こうした変化がオシャレじゃない」と答えが帰ってきた。ちょっとした部分にもコダワリる。サウンドコネクションの流儀だ。

ひと通り仕上げた後に、VABのスポイラーとスマートディビジョンのカーボンパーツ、タナベのサス、AGIOのホイールといった一級品でまとめ上げ、ストリートをクルージン。その着こなしにスキはない。

スモークドレンズがUSルックにリアルさを加える

アメリカのカスタムシーンはスモークドレンズが大好き。それを踏まえたうえで、サイドミラー、テールレンズなどに加工を施している。ルーフのアンテナは折りたたみのできないUS仕様に変更。現車のトランクスポイラーはカーボン製だが、市販モデルはカーボンルックとなる

ステアリングで個性を主張する

カーボン＆ナッパレザーの超高級ワンオフ・ステアリング。他にウッドやカラーリングなど仕様を変えて楽しむこともできる。

センターコンソールの内蔵LEDをグリーンからホワイトに変更して独自の世界観を表現。

USパーツ＆選りすぐりの日本製アイテム

ヘッドライト、テールランプはUSプリウスからの流用。ボンネットはスマートディビジョンのカーボン製。イエローのフォグランプは同じくスマートディビジョンの3000ケルビンHID。

英語のステッカーが“カッコいい”US仕様サンバイザー。カーゴルームのオールラウンダーマット、その下のスペースを区分けするカーゴオーガナイザーはUSディーラーオプション。サンコネで購入可。

US スカッフプレート内のLEDは本来はブルー。それをレッドに交換してボディとカラーマッチ。

フロアマットをよく見ると、「ナカムラ」の文字。ヨシムラをもじったオリジナル製品。

iPhoneで愛車の状態をリアルタイム診断

PLXという装置をOBD㊀のソケットに差し込めばWi-Fiで電波を飛ばし、iPhoneやiPod touchで情報を読み取ることが可能。燃費やエンジン回転数などもわかる。